

鹿児島県侵略的外来種カルテ

北・中米から導入された外来種です。隣県からの分布拡大によって、県内に侵入しました。鹿児島県では定着予防種、環境省では特定外来生物に指定され、始良市、霧島市、垂水市で確認されています。生態系のかく乱や柑橘類などの農作物への被害、寺社仏閣や人気のない家屋の屋根裏などで繁殖したり、糞尿による人への健康被害などが考えられています。アライグマを見つけたら、県自然保護課または各市町村に速やかに連絡をお願いします。早めの連絡が捕獲の成功、定着の防止につながります。

1 基本情報

分類	
目・科名	ネコ目アライグマ科
種名(亜種名)	アライグマ
学名	<i>Procyon lotor</i>
環境省カテゴリー	特定外来生物 緊急対策外来種
県カテゴリー	定着予防種
由来	国外由来外来種
侵略的外来種番付表	横綱(本土)
番付表掲載の理由	知名度の高い外来種
その他カテゴリー (日本生態学会ワースト100/IUCN 世界の侵略的ワースト100)	日本の侵略的外来種ワースト100
侵入・定着の状況	
自然分布域	北・中米(カナダ南部からメキシコ北部にかけて)
県内初報告	2015年(※)
県内への侵入の経緯	隣県からの分布拡大
県内の侵入分布	始良市、霧島市、垂水市
全国の侵入分布	沖縄県を除く46都道府県
生態学的特性	
生態	食性は雑食性で、小型ほ乳類、鳥類、両生類、は虫類、昆虫類、果実、種子などを食べる。 通常2～6個体のオスと交尾する。オスは交尾後1～3日は、メスと行動するが、その後は完全に別行動をとり、子育てには参加しない。
形態	全長はオス63.4～105.0cm、メス60.0～90.9cm、頭胴長42～60cm、尾長はオス20.0～40.5cm、メス19.2～34.0cmで全体的にオスが大型である。体重は3.6～9.0kg。5本の独立した足の指があり、眉間には黒い筋、白い縁取りの大きくとがった耳、しましまの尻尾が特徴である。
繁殖形態	交尾期は2～3月。妊娠期間は54～70日で出産期は4～6月である。産子数は平均3～4頭である。繁殖に失敗したメスは、同じ年に2度発情期がくることもある。
生息環境	通常、餌や水場、木のうろや岩穴、人家や畜舎などの、営巣を行う環境の整った地域に定住する複数のメスを単独のオスが囲う。水資源の豊富な森林環境を中心に分布が広がる傾向が強い。しかし、一定の水場さえ確保できれば、あらゆる環境に適応する。日本においても、各地の森林だけでなく、牧草地帯から都市域まで、広く定着が確認されている。
特記事項	特定外来生物なので、学術研究や教育などを目的として、あらかじめ申請して許可を取得した場合を除き、飼育、保管、生きたままの移動等はできません。



※平成6年に伊佐市(当時大口市)で狩猟による捕獲記録があるが、その後20年以上記録はなく、誤認の可能性が高いため除外。

2 影響	
被害の実態・おそれ ①生態系にかかる被害 ②農林水産業への被害 ③人の生命身体への被害	①小型のほ乳類、鳥類、は虫類、両生類、昆虫類、魚類、甲殻類などの捕食。 ②トウモロコシやイチゴ、メロン、スイカなど農作物の食害、養鶏場、養魚場における被害。 ③寺社仏閣や人気のない家屋の屋根裏などで繁殖したり、糞尿による人への健康被害。国内での事例はないが、自然分布域では、狂犬病、アライグマ回虫症の媒介者として知られている。
県内で特に予想される被害	在来は虫類、両生類、果樹類を中心とした農作物への被害。寺社仏閣や人気のない家屋の屋根裏などに住み着くことで建物の棄損や人への健康被害が予想される。
被害をもたらしている要因 ①生物学的要因 ②社会的要因	①天敵の不在、雑食性、高い繁殖能力、高い環境適応力。 ②テレビアニメによる一大飼育ブームの到来と同時多発的な遺棄。
3 対策	
アライグマを見つけたら	アライグマを見つけたら、県自然保護課または各市町村に速やかに連絡をお願いします。早めの連絡が捕獲の成功、定着の防止につながります。
見分け方	5本の独立した足の指、眉間の黒い筋、白い縁取りの大きくとがった耳、しましまの尻尾が特徴。 タヌキ、アナグマなどと見間違えられることが多く、尻尾に縞模様があるかどうかで見分けられる。また、子供の手形のような足跡が確認できれば、アライグマが生息していることが分かる。
見かけやすい場所・時間	夜行性であり、基本的に夜間にみられる。水辺周辺の開けた環境や少量の水が流れる沢沿いを好む。木登りが得意で大径木のうろなどを好んで利用する。
防除方法	箱わなによる捕獲が主流。水辺周辺の開けた環境を好むため、少量の水が流れる沢沿いにわなを設置するとよい。揚げたもの、甘いにおいのするものを好むため、わなの最深部には揚げパン、わな入り口から奥に向けてキャラメル味のスナック菓子、わな周辺に撒き餌としてドッグフードを使用すると、効率的かつ選択的にアライグマを捕獲することができる。
防除の取組事例	2015年9月に垂水市で確認されたアライグマを捕獲するため、垂水市が主体となり、同年10月から12月にかけてアライグマ確認場所周辺に箱わなを設置、翌年1月から3月にかけて生息状況調査のために自動撮影カメラを設置した。北海道、兵庫県などをはじめ、全国でも地方自治体を中心に捕獲が行われている。
その他	・県内へのアライグマ侵入確認に伴い、県は、2015年12月に鹿児島県アライグマ防除実施計画を策定。 ・県では、アライグマ防除を実施する自治体などを対象に、箱わな及び自動撮影カメラの貸し出しを行っている。

参考資料・参考URL

国立研究開発法人国立環境研究所 侵入生物データベース
<https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/10150.html>
Nature of Kagoshima 鹿児島県自然環境保全協会
<http://www.kagoshima-nature.org/category/back-number/>
農林水産省 野生鳥獣被害防止マニュアル-アライグマ、ヌートリア、キョン、マンガース、タイワンリス(特定外来生物編)-
http://www.maff.go.jp/j/seisan/tyozyu/higai/h_manual/h22_03.html
環境省 九州地方環境事務所 九州のアライグマについて
http://kyushu.env.go.jp/wildlife/mat/m_2_2.html
環境省 北海道地方事務局 地域からアライグマを排除するための
手引き
http://hokkaido.env.go.jp/wildlife/mat/m_2_2.html
大阪府 アライグマの被害対策について
<http://www.pref.osaka.lg.jp/doubutu/yaseidoubutu/raccoon.html>
鹿児島県 注意！県内で特定外来生物アライグマが確認されました
<http://www.pref.kagoshima.jp/ad04/kurashi-kankyo/kankyo/yasei/gairai/araiguma.html>
鹿児島県 鹿児島県アライグマ防除実施計画について
<https://www.pref.kagoshima.jp/ad04/kurashi-kankyo/kankyo/yasei/gairai/araigumaboujyo.html>
大分県 特定外来生物アライグマについて
<http://www.pref.oita.jp/soshiki/13070/araiguma.html>
佐賀県 アライグマ対策について
<http://www.pref.saga.lg.jp/kiji00314135/index.html>
福岡市 特定外来生物「アライグマ」について
<http://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/k-chosei/hp/sizenkankyou/araiguma.html>